

スポーツ推進だより

平成29年3月 No.124



上段：第17回岡崎市スローピッチソフトボール交歓会（28.11.6）

下段：岡崎市制施行100周年記念式 教育功績者表彰（28.7.1）

スポーツ推進だより 目次

第17回岡崎市スローピッチソフトボール交歓会	2
常磐ブロック研修会	4
全国スポーツ推進委員研究協議会	5
広報部 report（生平学区三河富士登山大会）	6
岡崎市制施行100周年記念式 教育功績者表彰	7
第64回東海四県スポーツ推進委員研究大会	8

第17回岡崎市 スローピッチソフトボール交歓会

連尺学区 鈴木 克典
矢作南学区 伊藤 仁



【 優勝 小豆坂学区／岡崎ブロック 】

平成28年11月6日(日)快晴という条件のもと大会が開催されました。各ブロックの代表チームがABブロックにわかれ予選リーグで競技され、両ブロックの上位チームにて決勝トーナメントを戦い白熱した試合がおこなわれました。優勝は岡崎ブロックの小豆坂学区、前田監督のもと「3連覇!」を合言葉にピッチャー小林さんはじめ選手全員のチームワークにより見事その栄冠を掴まれました。

各参加チームの選手はじめスタッフ、大会運営のスポーツ推進委員の方々、大きな声援を送ってくれた皆さんのおかげで賑やかな大会になりました。



準優勝 六ッ美南部学区 六ッ美ブロック(上左)

第3位 奥殿学区／岩津ブロック(上右)

第4位 北野学区／矢作ブロック(下左)



【 来年への抱負 】

平均年齢もあがり性格バラバラな選手をまとめ、ブロックを勝ち抜き、大会で優勝できるように楽しく仲良くプレーしたいです(北野学区村上様)

A ブロックリーグ



本宿学区／東部ブロック

本宿学区のソフトボール仲間と結成されたチームです。大会目標は1勝!



根石学区／中央第1ブロック

とりあえず1勝を目標に根石学区親睦ソフトボール会で大会に参加、他学区のレベルの高さにビックリ。

予選リーグ組合せ

Aリーグ		順位	勝	敗	勝率
国崎	10-0	1	3	0	1.000
東部	2-12	2	1	2	.333
中央1	0-7	3	0	3	.000
岩津	12-2	4	3	0	1.000

Bリーグ		順位	勝	敗	勝率
中央2	11-0	1	3	0	1.000
額田	0-11	2	0	3	.000
宇賀	3-2	3	2	1	.667
六美	3-0	4	3	0	1.000
矢作	12-2	5	3	0	1.000

B ブロックリーグ



広幡学区／中央第2ブロック

優勝あるのみと臨みました。点差の激しい試合展開で大騒ぎで楽しむことができました。来年も出場したいと思います。



夏山学区／額田ブロック

年配者と若者がほどよくバランスの取れた元気なチームです。天野選手のファインプレーで試合展開を引き寄せたかったが…。



常磐東学区／常磐ブロック

初出場チーム。しっかり守ってつなぐ攻撃を心がける。来年も「楽しく元気に」をスローガンに強いチーム作りに頑張ります。

大会風景



優勝チーム感想



取材後記



ピッチャー小林の活躍と選手全員の力、失点を最小限に抑え勝ち抜くチーム作りをしてきたことで大会3連覇を達成、来年の大会も出場できるよう頑張りたいです。(前田監督／小豆坂学区)

大会を通じ、地域の方々同士の親睦が図られ、たいへん有意義な一日を送ることができました。チーム選手とスタッフのみならずお疲れ様でした。(鈴木克典／連尺学区：スポーツ推進委員広報部)

常磐ブロック研修会

常磐学区 後藤 寿実

平成28年11月20日(日)9時00分より、常磐小学校の体育館と運動場をお借りして、常磐ブロック(常磐学区、常磐東学区、常磐南学区)の研修会を開催しました。前日に雨が降りましたが、なんとか予定通り3種目を研修することができました。

今回研修したのは、ミニテニスとペタンクとドッチビーです。ミニテニスは少人数でもできる競技、ペタンクは年齢体力にさほど関係のない競技、ドッチビーは比較的体力が必要ですが、子供と一緒に盛り上げられる競技、という理由で選びました。

ミニテニスは、常磐学区のレクリエーション大会でも競技として取り入れており、今年は12月11日に開催されるため、研修会に参加したスポーツ振興委員の皆さんにとっては、指導する立場として大変良い機会となったと思います。安全で簡単にできる競技である一方で、変化球など難易度を高くすることもできる競技でもあるため、今後も地域での普及を目指していきます。



ペタンクは、地域にチームもなく、現状やる機会もない競技ですが、やってみると面白い、子供からお年寄りまで一緒に遊べると参加者も話していました。何が面白いかと聞くとチームで盛り上げられること、相手チームの玉を散らした時の爽快感だと言っていました。

地域で気軽にペタンクができる状態を作れるようスポーツ振興委員の皆さんと検討していきたいと思います。



最後にドッチビーですが、基本的なルールはドッチボールと同じで、ボールの代わりに柔らかいスポンジのfrisbeeを使います。やはりこれは体力がいる競技でした。研修ですから無理をする必要がないはずですが、つつい熱中してしまいます。瞬発的な動きをするため、若いお父さんお母さんに子供と一緒に盛り上げてほしいと思っております。

常磐ブロックも高齢化が進んでいる地域ではありますが、年齢を問わず楽しめるスポーツを通して活気ある地域であり続けるよう私たちに地域のスポーツ推進委員とスポーツ振興委員が協力して盛り上げていきたいと思っております。

岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会研修部の皆さま、地域スポーツ推進委員及びスポーツ振興委員の皆さま、ありがとうございました。

平成28年度

全国スポーツ推進委員研究協議会

連尺学区 杉山 まゆみ



平成28年度全国スポーツ推進委員研究協議会が福井県のサンドーム福井にて11月17日(木)、18日(金)の2日間、開催されました。岡崎市からは関会長、辻めぐみさんと私の3名で参加して参りました。今年は「スポーツ文化の醸成と地方創生にむけて」をメインテーマに掲げ、今般スポーツ庁が設置された事や、2020年東京オリンピック、パラリンピック競技大会の開催決定を契機とし、スポーツに対する機運が高まる中、本協議会には全国から3,300人余りの参加がありました。

開会式に続き、各種の表彰が行われました。私はその表彰の中の「スポーツ推進委員功労賞」を受賞させて頂きました。これもひとえに諸先輩方のご指導と事務局の皆様、スポーツ推進委員の仲間の皆様、そして地域の皆様のお力添えのお陰と感謝致しております。ありがとうございました。今後、皆様がスポーツを親しまれる中で、夢や希望を見つれたり、豊かな心や生きがいのある生活を営まれるよう微力ではございますが、精一杯務めさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

続いて「スポーツに学ぶコミュニケーション」～元気、活気、勇気を与えるトーク術～と題し一般財団法人日本ペップトーク普及協会会長の岩崎良純氏の講演がありました。その「ペップトーク」とは大事な本番前に指導者が選手や生徒にかける「前向きな励ましの言葉」であったり「短い激励のメッセージ」であります。講演会内容としては、プロや実業団、企業、オリンピックチームの帯同経験を巧みな話術で体験談をお話頂きました。またペップトークとは、前向きな背中の一押しであるということで、私たちが普段無意識に発している言葉は、これに反しているケースが多い事に気付きました。聞き手に対しモチベーションの上がる言葉を使い、イメージさせて実現化する事が必要で、そのイメージは目的語でなければならないと言います。それを伝えることにより思考が現実となるそうです。指導者と選手や生徒との信頼関係の中で大切なペップトーク、今後私も是非身に付けたいと思えました。

次に「スポーツがもたらす明るく元気な未来への創造」をテーマに筑波大学体育系教授、柳沢和雄氏をコーディネーターとしてシンポジウムが開かれました。4名のシンポジストの皆様からは、今後子供から高齢者、障害者に至る全ての国民がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、明るく元気な未来を迎える為「文化としてのスポーツ」について改めて目を向けそれぞれのお立場から意見交換が行われました。



そして2日目、会場を鯖江市文化センターへ移し「生涯現役社会の実現に向けたスポーツ推進委員の役割」～スポーツの力で健康長寿社会の実現～をテーマに早稲田大学スポーツ科学学術院教授、松岡宏高氏をコーディネーター役とし3名の皆様から事例発表がありました。全国平均寿命が、男性80.79歳、女性87.05歳の現代、長寿社会において1人でも多くの国民がスポーツを楽しみ、参加する環境等具体的な方策等の事例を基にスポーツ推進委員の取り組みについての課題を考えてみることになりました。

最後に、本会に参加して感じた事は、地域スポーツの更なる普及、拡大を図っていくためには、私達スポーツ推進委員が魅力あるスポーツを提供したり、スポーツに関心の無い方への働きかけも取り組む必要があるということと、「スポーツ文化」という言葉通り、日常的にスポーツに親しみ、明るく元気な生活を営んでもらえるお手伝いをスポーツ推進委員として取り組むべきと思えました。微力ながら1人でも多くの方にスポーツを楽しんで頂けるように務めて参ります。ご協力をよろしくお願い致します。

生平学区 「三河富士登山大会」

他学区体験型のエリアリポート第2段! 今回は生平学区で11月12日(日)に開催されました「三河富士登山大会」についてレポートします。

朝、小学校に到着すると社教行事であり、小学校行事でもあるのか、校門の今月の予定(黒板)にもしっかり「三河富士登山」と記されています。開会式で紹介がありましたが今年で38回目と、生平で毎年行われている恒例の行事です。

開会式、準備運動の後、先頭と最後尾にスポーツ推進委員が付いて出発です。



今回の参加者は4歳(年中)の子から82歳の方まで多岐に渡り、総勢100名超です。小学校の先生方も参加されています。通りから外れて、少しずつ上り坂になっていきます。途中、護国神社に集合していた参加者とも合流し(小学校まで1時間近くもかかる児童もいると聞きました。今大会の集合場所は小学校と、この2箇所)、いよいよ登山道入り口へと向かいます。三河富士山道の標柱があり、いよいよここから一気に上り坂(文字通り登山)です。子どもも大人も這いつくばって上がっていきます。足元、また下に小石などを落とさないよう注意しながら登っていきます。山の頂上に達すると、子どもたちは後から登ってくる友達の名前を呼んで応援しています。

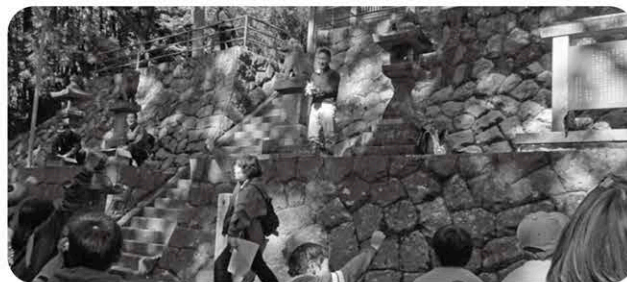
全員が頂上に達したところで児童全員の記念撮影。その後は起伏も若干緩やかになり、ウォーキングがてら思い思いにおしゃべりをし、情報交換・親睦を深めています。今回の開催について準備で苦労したことを伺ったところ、コース下見の際のこざりやチェーンソーでコースに倒れ掛かっている木を撤去していくことが大変だったことをお聞きしました。

確かに今ずっと山道を歩いていて、コースには障害物がないのには、本当にありがたく思いました。

ゴールの須佐之男神社では、役員の皆さんが「しし汁」を準備してくれています。イノシシは前日に猟師さんが仕留め準備してくださり、また味噌も地元の方の作ったものを分けていただいたとのこと。さっそくいただきましたが、とっても美味しかったです。思わずおかわりをしてしまいました。



他学区で開催されている行事に参加するというのは、なかなか機会がないことで、学区の特色を生かした「行事」そのものだけでなく、運営の仕方、スポーツ推進委員と地域の人々との関わり方等、おおいに参考にさせていただきたいことが得られた有意義な一日でした。



最後になりますが、当日お世話いただいた生平学区の皆様、ありがとうございました。

岡崎市制施行100周年記念式

教育功績者表彰



羽根学区

関 浩

平成28年7月1日岡崎中央総合公園武道館にて市制施行100周年記念式典が開催されまして、大変名誉ある教育功績者表彰を内田岡崎市長より受賞しました。これもひとえに私の一人の力ではなく、全市スポーツ推進委員、教育委員会、市民スポーツ課、地域の皆様のご協力あつての受賞と思います。これからも健康で楽しい、明るく、楽しく、元気よく、をモットーに、これからも生涯スポーツの発展に誠心誠意全力で努力してまいりたいと思います。ありがとうございました。

出身地が岡崎市ではなく、岐阜県関市である私が、100周年記念の教育功績者という名誉ある賞をいただくことができたのは、ひとえに大樹寺学区の皆様、歴代市スポーツ推進委員の皆様のおかげだと思います。改めて感謝申し上げます。自分の子どもが学区の方々にご世話になることがあるかもしれない、そのお返しになればと思いますスポーツ推進委員の役を受け22年経ちました。100周年という節目の記念式に出席させていただけたことを一生の思い出にします。



大樹寺学区

洞井 治



形埜学区

荻野 保夫

この度は、教育功績者表彰の栄誉を賜り、身に余る光栄であります。これも諸先輩、地域の皆様方、そして家族のおかげと深く感謝しております。昭和63年に旧額田町体育指導委員に任命されて以来、スポーツを通して健康で明るく、活気に満ちた豊かな生活ができるよう、スポーツ推進活動に取り組んできた賜物だと思っています。今後も地域住民のニーズに対応するコーディネーターとして、「原点回帰」の気持ちを忘れずに役割の重要性を認識し、信頼されるスポーツ推進委員を目指す努力が大切と考えています。

この度は、教育功績者表彰をいただきましてありがとうございました。身に余る光栄でございます。これもひとえに諸先輩方のご指導と、事務局の皆様、スポーツ推進委員の仲間の皆様のご協力のお陰だと感謝申し上げます。私、今年度でスポーツ推進委員を24年間努めさせて頂きますが、これを期に初心に戻り、地域の皆様がスポーツを親しむ事で健康で豊かな生活を営む事が出来るよう、お役に立てれば幸いと存じます。今後とも、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



連尺学区

杉山 まゆみ



愛宕学区

及部 芳明

教育功績者として表彰を受けさせて戴きました。愛宕小学校の子ども会会長として活動していたある日、体育指導委員を引き受けて貰えないかと。一度はお断りしましたが、当時の社会教育委員長が自身もボランティアで引き受けたので一緒に活動して欲しいと、その言葉に納得して受けることになりました。研修部長、ブロック理事、監事を拝命し、今期で26年経ってしまいました。私が26年もの永い間続けてこられたのは私自身が体を動かすことが好きであり、良き先輩や仲間にも恵まれて活動できたからであり、私の財産であります。今年度で任期満了になりますので、これからは後輩たちの指導に当たりたいと考えています。永い間大変お世話になりました。

第64回

東海四県スポーツ推進委員研究大会

下山学区 成瀬 広美

第64回東海四県スポーツ推進委員研究大会が、全体会が2月3日（金）三重県伊勢市の三重県営アリーナ、分科会は2月4日（土）志摩市阿児アリーナで開催されました。岡崎市からは、関会長を始めとして、スポーツ推進委員・事務局2名を含めた26名が参加しました。

全体会では開会式で、長きにわたり地域のスポーツ振興・推進に尽力・貢献された方・団体に功労表彰が行われました。当市からは、中ブロック功労者表彰として愛宕学区の及部芳明さん、東海四県功労者表彰として私成瀬の2名が表彰を受けました。



開会式後は、パネルディスカッションとして、テーマ『これからのスポーツ推進委員に求められるもの』と題し、コーディネーターとしてテレビ朝日コメントーターの宮島さん、パネリストとして女子柔道銀メダリストの山口さん、三重県障害スポーツ協会会長の前田さん、筑波大学体育系教授の柳沢さん、三重県知事の鈴木さんの5人で、トーク形式で、現在のスポーツを取り巻く状況を分かりやすく解説・説明してくれて、そこにスポーツ推進委員がどのように関わるか、を聞くことができました。特に、女性の週1回スポーツをやる割合が年々低下し約30%程度しかないこと、障害者が運動する場所・体制が少ないことは、スポーツ推進委員の一員として考えさせられるトークだったと思います。

2日目の分科会は、『総合型地域スポーツクラブとスポーツ推進委員の関わりについて』、三重の『さんさんクラブ』の活動内容紹介がありましたが、運営資金の調達や、指導者育成・イベント等の苦労話や、スポーツ推進委員が実際にこんなことをやっている報告が少なかったのと、総合型スポーツと岡崎市が振興しているスポーツとどこがどう違うのかが理解ができていないため、印象に残るものは少なく、自分自身の勉強が必要と感じました。

最後にこの2日間の研修で、他スポーツ推進委員と夕飯の懇親会を含め、たくさんの人と交流ができ、スポーツ推進委員としての役割・方向性を再認識することもでき、非常に有意義な研究大会だったと思います。これから1つでも多くの行事に参加し自分自身を磨き、それが誰かのためにほんのチョット役に立てるようであれば、進んで行ってきたいと思います。



発行 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会
編集 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会広報部
事務局 ● 岡崎市市民生活部市民スポーツ課 (TEL23-6363)